

Dr. 中路の健やか通信 (其の85)

健やか協力隊長  中路 重之

第85回 “短命県返上” というスローガン

❖ 「辛気（しんき）臭い」のやめろコール

最近多くの皆さんから「短命県返上」というスローガンはやめてほしいと言われるようになりました。何かのコラムで知事もそのことを書いておられたと聞きました。

そもそも短命県返上とは歴代の知事が選挙の公約で使ってきたキーワードです。私の専売特許ではありません。ただ私が目立ち過ぎたため、私自身が「ミスター短命県返上」ととらえられるようになってしまい、批判の矛先が向けられるようになったということだと思います。

その中でも特に言われることが「短命なんて、青森県民の劣等感を高めるだけだ。第一県民にとって聞き心地良い言葉ではない!」、「子供が毎日短命県返上を聞かされてかわいそうだ。大人になっても青森県に誇りを持つてなくなる!」などです。そう言われれば確かにそんな気もします。

私自身もこの活動を始めた30年前は、短命県返上のスローガンが長続きするとは考えていませんでした。そのうち返上するだろうとタカをくくっていました。

ところがなかなか短命県返上は実現しませんでした。スローガンを毎日のように聞かされる県民の皆さんもだんだん食傷気味というか嫌気が増してきたのだと思います。

青森放送（RAB）も短命県返上のコマーシャルを流してくれてますが、その事の中止の依頼も含めてこのスローガンをやめようかと思ったことがあります。しかし、そこに一歩踏む込めない自分がいます。悩みがあるからです。それは以下のような理由です。

- ① 短命県返上にはインパクトがある。「短命県返上」の代わりに「健康になろう」などのスローガンでぼんやりして何が何かわからない。知事などの選挙の公約にしても、「健康づくりをやろう!」や「健康増進を推進しよう!」



ではぼんやりしすぎてよくわからないというのが正直な気持ちである。

- ② 短命県返上の強いインパクトでここまで来れたのではないか。確かにいまだに返上はできていないが、それを取り囲む状況は確実に上向いてきている。

このことについては、ご意見をいただきたいです。

ご意見はこちら↓

青森県医師会 健やか力推進センター

青森県青森市新町2丁目 8-21 青森県医師会館 6F

TEL 017-763-5590

E-mail : suk-kyoryokutaiin@lily.ocn.ne.jp

